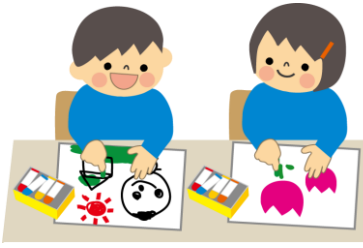


幼稚園児の描いた絵がパンになって登場



浜松の沢田朱莉ちゃん考案パン
LPガス販売のエネジン（浜松市中区）とドラッグストアアチエーの杏林堂薬局（同）は、浜松市内の園児が描いたパン「ゆめがいっぱいながれぼしパン」を商品化した。店内でパンを焼いている杏林堂の九店舗で十日に発売した。子どもに食べさせたいパンを親子で考えてもらおうと昨年、両社が市内の幼稚園十二園から募った「パンの絵コンテスト」の一環。絵に材料や作り方が記された三十八点の中から、れんげこども園（中区）の沢田朱莉ちゃん（6）が考えた流れ星をイメージした作品を優秀賞に選び、商品化した。トマトソースを塗ったピザ風の



流れ星をイメージ

杏林堂9店で販売

パン生地には星形のコロツケを載せ、ベーコンとポテトサラダ、コーンで流れる様子を表現した。開発を担当した杏林堂の板垣早織さん（30）は「一つのパンにこれだけ多くの具材を使うことはないので、お得です」と語った。価格は税抜き百二十円。二月末までの販売を予定している。九店舗は姫街道、新津（中区）、和田（東区）、新居（湖西市）、袋井下山梨（袋井市）、浜岡（御前崎市）、吉田（吉田町）、藤枝清里（藤枝市）、富士厚原（富士市）。両社はこれまで、杏林堂で販売する入浴剤や菓子のパッケージの絵柄をエネジンが児童から募集するなどして協業している。

（山田晃史）



「エネジン」×「杏林堂薬局」コラボ企画！
子どもに食べさせたいパンを募集し「パンの絵コンテスト」を開催！
れんげこども園の澤田朱莉ちゃんのデザインが採用！
その名も「ゆめがいっぱいながれぼしパン」。
自分の描いたものが商品に！夢いっぱいの企画です！！

平成31年(2019年)1月11日(金)

中日新聞掲載